

高温・少雨条件下における果樹の技術対策

福島県農林水産部農業振興課

1 気象経過

6月以降、県内全域で近年にない少雨傾向が続いています。特に、会津北部及び中部では、7月中旬の降水量は、かなり少ない状況(喜多方1%、若松3%)です。

また、先日の台風12号による降雨は山間部が中心であり、一部の地域を除いて雨不足は解消されていません。

今後も気温が高く、降水量も少ない状態が続く見込みであり、果樹の技術対策を徹底しましょう。

なお、農作業時は熱中症対策など健康管理に十分注意しましょう。

表 7月28日～29日の降水量

市町村	観測地点	降水量mm
福島市	福島	18
伊達市	梁川	24.5
郡山市	郡山	13.5
石川町	石川	24
白河市	白河	19.5
会津若松市	若松	6
喜多方市	喜多方	0
南会津町	田島	42
相馬市	相馬	10.5
南相馬市	原町	16.5
いわき市	平	11.5

2 生育状況

もも、なし、りんごでは果実の肥大不良や葉のしおれ、りんご等では日焼け果の発生が見られています。

また、樹勢の低下や枯死樹の発生、翌年の花芽分化の不良など、今後の樹体への影響が懸念される状況となっています。

3 技術対策

(1)かん水

かん水は、果実肥大の促進、日焼け果の防止、樹勢回復等に最も効果的な対策です。スプリンクラーなどのかん水設備のある園地では、収穫1週間前までかん水を継続してください。

1回のかん水量は、10a当たり25～30mm(2万5千～3万ℓ)を1週間間隔で実施しましょう。

また、かん水設備のない園地では、スピードスプレーヤーなどで水を運搬して、できるだけ実施してください。その際には、幹周りを中心に実施してください。

なお、ももでは、収穫が終了した品種に対しても、樹勢を回復させるためかん水を実施しましょう。

(2)修正摘果

干ばつの影響が大きく小玉果の発生が見られている園地では、下枝の小玉果は早めに摘果し、着果量を通常よりも少なめとしてください。

(3)ハダニ類の防除

すでに、多くの園地でハダニ類の発生が見られている状況です。

ハダニ類が多発すると、葉ヤケやりんごの着色不良につながるため、早めに殺ダニ剤を散布してください。

なお、高温条件では、短い期間でハダニ類が再発しやすいため、園地での発生状況に留意してください。

(4)適期収穫

収穫前から収穫期の高温・乾燥条件で経過する場合、果実の成熟に影響が大きいため、

果実の着色、地色の抜けや果肉の軟化等の成熟状況に注意し、適期収穫を徹底しましょう。

また、収穫時の果実温が高いと果実が軟化しやすいので、収穫は気温が低い時間帯に行い、収穫後は涼しい場所に保管しましょう。

4 農作業時の留意点

高温条件下における農作業では、作業者の体調管理に十分注意しましょう。特に、気温が高くなると、熱中症をおこしやすくなるので注意が必要です。このため、作業者の健康管理に配慮し、作業環境の改善に努めましょう。

(1) 留意点

ア 農作業はなるべく暑い時間帯を避けて行い、休憩を頻繁に取りましょう。

特に、栽培ハウスや温室内での作業は朝と夕方の涼しい時間帯に行いましょう。

イ 汗で失われる水分や塩分を、こまめに補給しましょう。

ウ 通気性の良い作業衣や帽子を着用するなど、服装に注意しましょう。

エ 簡易の移動式テントなどを使用し、なるべく日陰での作業ができるよう工夫しましょう。

(2) 応急処置

熱中症が疑われる症状が現われた場合は、応急処置として涼しい場所で身体を冷し、水分及び塩分の摂取等を行いましょう。また、速やかに医師の診察を受けるようにしましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL 024(521)7344

○農業振興課ホームページ：以下のURLより他の農業技術情報(生育情報、気象災害対策、果樹情報、特別情報)をご覧ください。

URL：<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>